

令和8年度用

改訂新版

社会の新研究

長野県 高校入試情報

令和7年度長野県入試の全体傾向

- 大問構成、問題数について
 - 大問は地1・歴1・公1の計3問
 - 小問は37問(昨年は35問)
 - 文章記述問題は8問(昨年は11問)
- 出題傾向について
 - 完答が多く、問題数以上に解く時間が必要。時間配分に気をつける。
 - 記述問題は記述量が多い。乗合タクシーに切り替えることがよいと考えられる理由と乗合タクシーに切り替えるうえでの課題をそれぞれ40字以上60字以内で書く問題など、読解力と文章作成力が求められる。
 - 各分野とも資料の読み取りも多いので、資料の特徴を読み取る練習をしておく。

★長野県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

文章記述問題の出題

・指定語句を用いた記述形式や、資料を読み取ったうえでの考えや理由などを字数制限内にまとめる記述問題などが出題される。記述量が多いため、練習が必要。



新研究で対策！

- 巻頭の「社会のキホン～記述問題の答え方～」(p.2～3)と、「文章記述問題はこわくない！」(p.184～187)で記述問題のポイントがつかめます。
- 「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」(p.194～197)では、複数の資料を用いた問題など、思考力を必要とする問題が練習できます。

資料読み取り問題の出題

・各分野において、統計やグラフなど資料からの読み取り問題が出題されているため、複数の資料に慣れておくことが必要。



新研究で対策！

- 解説ページの「入試によく出る資料読取」コーナーで、よく出る資料の読み取り問題を出題しています。
- 「フォロー特集 わかる！さまざまなグラフの読み取り方」(p.24～25)で、いろいろなグラフの読み取り方をおさえられます。
- 「資料活用問題に強くなろう！」(p.178～183)は、例題で読み取りの基礎をおさえたあと、最新入試問題で練習ができるように工夫しています。

★新研究で出題した長野県の入試問題(令和7年度)

- ◆p.51 大問3 ◆p.57 ◆p.93 大問2 ◆p.93 大問2 ◆p.97 大問1 ◆p.129 大問3
- ◆p.145 大問2 ◆p.180 大問1 ◆p.197 大問4

長野県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！



★長野県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿			
		日本の姿	●	●	●
		世界各地の人々の生活と環境			
		アジア州	●	●	●
		ヨーロッパ州, アフリカ州			
		北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州		●	●
		地域調査の手法	●		●
		日本の自然, 人口	●	●	●
		日本の資源・産業, 世界との結びつき	●	●	●
		九州地方, 中国・四国地方		●	
		近畿地方, 中部地方		●	●
		関東地方, 東北地方, 北海道地方	●	●	
	歴史的分野	文明のおこりと日本	●	●	●
		古代国家の歩み	●	●	●
		中世社会の展開	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一	●	●	●
		近世社会の発展	●	●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国	●		●
		近代日本の歩み		●	●
		二度の世界大戦と日本		●	●
		現代の日本と世界	●		●
	公民的分野	現代社会と私たちの生活		●	●
		個人の尊重と日本国憲法		●	●
		現代の民主政治, 国会	●	●	●
		内閣・裁判所, 三権分立			
		地方自治			●
		消費生活と流通・生産, 市場経済と金融		●	●
		財政, 国民生活と福祉	●	●	●
		地球社会と私たち	●		●
出題形式別の傾向	分野統合		●		
	大問数	3	3	3	3
	小問数	37	38	35	37
	記号解答	17	18	17	22
	用語記述	7	9	7	7
	文章記述	13	11	11	8
	作業・作図				